

令和3年9月定例教育委員会

- 開催日時 令和3年9月24日(金) 13時00分～13時58分
- 開催場所 教育委員室(県庁22階)
- 出席委員等
教育長 小泉 元伸
教育長職務代理者 中田 俊之
委員 内藤 學
委員 川上 美智子
委員 市原 健一 (オンラインにより出席)
委員 庄司 一子 (オンラインにより出席)
委員 中庭 陽子

※ 事務局出席者については、別紙のとおり

○ 議案

- 1 議案
公開 第23号議案 令和3年度茨城県一般会計補正予算案に対する意見について (財務課)
- 公開 第24号議案 茨城県県立特別支援学校の指定に関する規程の一部改正について (特別支援教育課)
- 公開 第25号議案 茨城県立特別支援学校学則の一部を改正する規則について (特別支援教育課)
- 非公開 第26号議案 茨城県県立学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例案に対する意見について (財務課)
- 非公開 第27号議案 令和3年度優秀教職員の表彰について (高校教育課)
- 2 その他
非公開 県立水戸聾高等部の学科改編等について (特別支援教育課)

※ 非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会の宣言があり、非公開審議項目についての提案がなされ、各委員から了承されました。

2 議 事

【公 開】

第 23 号議案 令和 3 年度茨城県一般会計補正予算案に対する意見について

(財 務 課 長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(川 上 委 員) 資料に国補と書いてありますが、最終的には国からお金が来るのでしょうか。

(財 務 課 長) こちらの予算につきましては、国のコロナ交付金を活用させていただきたいということです。

(中 庭 委 員) 予算額についてではないんですけれども、既に購入した食材っていうのは、どのように処分されたんでしょうか。

(財 務 課 長) 現時点では、まだ給食の中止による被害というものの報告は受けておりません。

この予算の考え方としましては、臨時休業中の給食の対応というものを前提に考えているわけなんですけど、これから第 6 波、第 7 波が来るかもしれませんので、そういったことが起きた時に速やかに対応できるように、予算の枠取りの意味も含めて、今回予算措置をさせていただきたいと思っています。

(中 庭 委 員) 既に購入されたのかと思いました。

もし既に購入をした場合は、食材を無駄にしないよう活用をお願いいたします。

(教 育 長) 昨年度同じく予算化してキャンセルした分があったと思いますが、食材はどうしたんですか。

(保 健 体 育 課 長) 基本的には無駄にしないように、違う販路を見つけながら対応したりしましたが、対応できなかったもの、廃棄せざるをえなかったものについては、廃棄してその分を補填いたしました。

(教 育 長) できるだけ一般の民間需要に回しながら、どうしてもないものは補填したということですね。

第 24 号議案 茨城県県立特別支援学校の指定に関する規程の一部改正について

第 25 号議案 茨城県立特別支援学校学則の一部を改正する規則について

(特 別 支 援 教 育 課 長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(内 藤 委 員) 水戸飯富特別支援学校から内原特別支援学校に移行する人数はどれぐらいなのかと、移手段について教えていただけますか。

(特 別 支 援 教 育 課 長) 水戸飯富特別支援学校から内原特別支援学校に異動する対象者は、現在 64 名が対象になっております。

現在、水戸飯富特別支援学校で説明会を何回か行っておりますが、個別の相談も行っておりまして、原則は異動していただくんですが、どうしてもご家庭の事情等で、例えば、高校 1、2 年生で継続して勉強したいという生徒につい

ては、そのまま異動しないということも認めていきたいと思っています。

通学者につきましては、基本的に児童生徒たちはスクールバスで通学しますので、スクールバスのルートをいろいろと変更するといった形で対応したいと思っています。

(内藤委員) スクールバスの増便とかもあるんですか。

(特別支援教育課長) 増便もあるかもしれませんが、今回は多少入り込んでしまうんですが、うまく工夫しながら対応したいと思います。

(内藤委員) 極力不便の少ないようにお願いいたします。

(川上委員) 特別支援学校に関しては、高等部が少ないって声を聞いているんですけど、今回高等部では64名が純増となるんですか。

(特別支援教育課長) 県内全体からすると純増ではないです。

水戸飯富特別支援学校の高等部に在籍していた生徒のうち、水戸四中と千波中の学区の生徒が内原特別支援学校に異動し、今までは水戸飯富特別支援学校に進学していた内原特別支援学校の中学生が、そのまま内原特別支援学校の高等部に進学するというので、全体的な生徒の数は変わらないです。

(川上委員) 今後高校生の数が増えるというわけではないんですね。

できたら高等部が非常に不足しているって聞いていますので、そのあたりも今後ご検討いただければと思います。よろしくお願いします。

(中田委員) まず、特別支援学校に通学する児童生徒が増えているということなんですが、その理由としては、障害を持った児童生徒が増えているのか、それとも、特別支援学校に行くことを希望する児童生徒が増えているのか。

あと、聾学校みたいな特に特殊な支援学校があるんですが、そういったところこそ非常に数がなくて、例えば、古河市から通学できるところがなかったりとかってあると思うんですが、聾学校などについての考え方を何かお持ちであれば聞かせていただけますか。

(特別支援教育課長) まず1点目ですが、正式な医学的な知見というのは、まだ私どもは把握してございませんので、そのことについては明らかなことにはなっていません。ただ、委員おっしゃられる通り、特別支援学校における教育の内容が社会に認知されてきている、保護者の方に認知されてきているということで、特別支援学校への進学、入学っていうのが増えてきているんだと思っています。

2点目ですが、確かに聾学校は県内に1校しかなく、盲学校も県内に2校しかないんですが、この児童生徒の数の推計としては、これから微減していくと推計しております。両校ともどうしても通えない児童生徒がおりまして、寄宿舎というのを作っているわけなんですが、現状ではそちらの寄宿舎で今までどおり対応させていただきたいと考えているところです。

(中田委員) 実際に県西地区とかの目や耳に障害のある児童生徒はどうしているんですか。寮に入っているんですか。それとも通学できないから盲学校などに行かないという選択をされているんですか。

(特別支援教育課長) 寮に入っている児童生徒もおります。確かに地元の学校に行くという児童生徒もいると聞いておりますが、通学できないからという話は聞かないですね。

(中田委員) 基本的には寮に入っているということですね。

ただ、まだまだ大人ではないので、ご家族と一緒に住まれることを希望する方もいると思いますので、今後どうしていくか考えていただければと思います。

(市原委員) 今回内原特別支援学校に高等部を作るということですが、今、県内の特別支援学校にはどれくらい高等部が設置されているんですか。

(特別支援教育課長) 県内に23校の特別支援学校があるのですが、そのうち高等部を設置していないのが、大子特別支援学校と霞ヶ浦聾学校、それと内原特別支援学校の3校です。

(市原委員) 高等部が設置されていないのは3校だけなんですね。

今後は高等部を積極的に設置していくという考え方でよろしいんですか。

(特別支援教育課長) できれば小中高と一貫した教育を行いたいと兼ね兼ね考えているのですが、内原特別支援学校につきましては、水戸飯富特別支援学校が開校してからだいぶ後に作られたのですが、当初は内原特別支援学校を大きく作らず、あまり通学距離が変わらないため、高等部進学の際は水戸飯富特別支援学校に行っていたことを想定しておりました。

しかしながら、ここにきて水戸飯富特別支援学校の生徒数が増えてしまい、

教室の確保が難しい状況にもなったことに加え、当初から考えていた小中高一貫の教育であるべきという考え方から、内原特別支援学校に高等部を新たに設置しようということになりました。

(市原委員) 高等部の必要性というよりも、規模が大きくなったので、高等部を作ろうという考え方ですか。

(特別支援教育課長) 最初の考えとしては、本来内原特別支援学校に高等部を作りたかったのですが、様々な事情から作れなかったため、規模が大きくなったこの機会に作ろうとなったという部分はあります。

(市原委員) これから特別支援学校においても高等部の必要性が出てくると思うので、引き続き検討をお願いします。

もう一つ、つくば特別支援学校についてですが、開校当初から入学者が増える見込みで、今の用地では賄いきれないだろうと懸念がありました。当時は予算の関係で、今の用地に落ち着いたと聞いているのですが、資料に用地取得の検討と書かれておりますが、具体的なスケジュールは決まっていますか。

(特別支援教育課長) いばとくプランを作った時には、用地取得を検討しておりました。

現在も地権者との交渉も少しずつ行っておりますが、用地を取得して増築するか、敷地内に増築するか内部で検討を行っております。

(市原委員) ご存じだと思いますが、つくば特別支援学校の敷地はあまりいい形状ではなく、運動場が谷底にあるような形状になっていますし、なかなか現在の用地の中に増築は厳しいのではないかと思います。元々侵入路の両サイドには最初に購入を検討した用地がありますので、その辺を十分考慮していただいて、積極的に進めていただければと思います。

(中田委員) 先ほどの質問の続きになりますが、聾学校や盲学校などの特殊な特別支援学校が水戸市あたりにしかないことに違和感があって、例えば、境特別支援学校に聾クラスや盲クラスを作ろうという検討をしたことはありますか。

(特別支援教育課長) 今までのところないです。

ただ、入学前の小さい子ども向けに、県西、県南、日立市にサテライト教室を置いて、入学前の事前の教育を行っていることもありますし、聾クラス、盲クラスについても少しずつ勉強を始めさせていただきます。

(中田委員) 泣く泣く親元を離れている児童生徒もいるかもしれませんので、そんな目線でも検討いただければありがたいと思います。

【非公開】

第 26 号議案 茨城県県立学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例案に対する意見について

※ 第 26 号議案については、原案のとおり可決されました。

第 27 号議案 令和 3 年度優秀教職員の表彰について

※ 第 27 号議案については、原案のとおり可決されました。

その他 県立水戸聾高等部の学科改編等について

3 閉 会

教育長から閉会の宣言がなされました。

(別紙)

令和3年9月定例教育委員会 事務局職員出欠表

令和3年9月24日(金)

職名	氏名	出欠	代理者職氏名
教育改革推進監	森 作 宜 民	○	
総務企画部長	大 谷 美 恵 子	○	
学校教育部長	秋 本 光 徳	○	
総務課長	木 内 規 雄	○	
教育企画監	鹿志村 泉	○	
財務課長	糸 賀 正 美	○	
生涯学習課長	市 村 志 保	—	
福利厚生課長	小田部 修 一	—	
文化課長	田 崎 俊 一	—	
義務教育課長	石 塚 康 英	○	
高校教育課長	柳 橋 常 喜	○	
特別支援教育課長	内 桶 博 仁	○	
保健体育課長	秋 山 克 巳	○	

※新型コロナウイルス感染症予防のため、事務局職員は議案等関係課長のみ出席